国土交通省 中部運輸局

祝！「山・鉾・屋台行事」ユネスコ無形文化遺産登録
「山車・からくり」に親しむ交流会を開催しました

平成28年12月1日（木）、名古屋テレビ塔において「山車・からくり」に親しむ交流会を開催しました。昇龍道の「山・鉾・屋台行事」の多くがユネスコ無形文化遺産に登録されたタイミングと重なったこともあり、会場は満員で、愛知県内の大学に通う留学生など外国人の方の姿も目立ちました。

中部運輸局では、広域観光周遊ルート「昇龍道」の事業の一環として、地域の伝統文化である山車・からくりを観光に活かすべく、昇龍道の山車やからくりの祭りについての情報発信など魅力向上に向けた取組を、「昇龍道山車・からくり街道」と名付けて実施してきています。

今回、「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを契機として、留学生など外国人の方に、山車やからくりに親しんでいただくこと、祭り関係者と交流を深めていただくこと等を目的として、本交流会を開催いたしました。

交流会では、第１部として立川流彫刻六代目の立川芳郎尚冨氏に山車の彫刻と祭りの精神性や芸術性及び観光への取組をご講演いただき、尾陽木偶師九代玉屋庄兵衛氏に茶運び人形等のからくり人形の実演を行っていただきました。参加者は熱心に耳を傾け、スマートフォンやカメラで写真を撮るなどして山車やからくり、祭りについて興味を示していました。第２部では、ミニチュアの山車等の展示をしてある部屋へ移動し、「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録を記念して、抽選で当たった外国人の方に鏡割りを体験していただきました。

交流会に参加した外国人の方からは、「近くでからくりを見たのは初めてでおもしろかった」、「鏡割りに参加できてとてもうれしい」等の感想が寄せられました。

中部運輸局では、今後も引き続き関係者と共に、「昇龍道山車・からくり街道」事業に取り組み、昇龍道への誘客を図ってまいります。

All Rights Reserved, Copyright (C) 2006 Chubu District Transport Bureau